令和7事業年度

決　　算　　報　　告　　書
（第22期）

自：令和　7年4月　1日

至：令和　8年3月31日

国立大学法人鹿屋体育大学

（様式２－１）

令和７事業年度　決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学

（単位：百万円）

区　分	予算額	決算額	差　額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,388	1,452	65	(注１)
施設整備費補助金	429	451	23	(注２)
船舶建造費補助金	－	－	－	
補助金等収入	－	154	154	(注３)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	8	8	－	
自己収入	548	425	△124	
授業料、入学料及び検定料収入	509	383	△126	(注４)
附属病院収入	－	－	－	
財産処分収入	－	－	－	
雑収入	39	41	2	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	37	59	23	(注５)
引当金取崩	－	－	－	
長期借入金収入	－	－	－	
貸付回収金	－	－	－	
目的積立金取崩	17	39	22	(注６)
計	2,426	2,588	162	
支出				
業務費	1,953	1,931	△22	
教育研究経費	1,953	1,931	△22	(注７)
診療経費	－	－	－	
施設整備費	437	459	23	(注８)
船舶建造費	－	－	－	
補助金等	－	21	21	(注９)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	37	56	20	(注10)
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	－	－	－	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	2,426	2,468	41	
収入－支出	―	121	121	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○　予算と決算の差異について

（注１）運営費交付金については、追加配分の影響により予算額に比して決算額が 65 百万円増額となっています。

（注２）施設整備費補助金については、主として計画変更による増額があり、予算額に比して決算額が 23 百万円増額となっています。

（注３）補助金等収入については、当初段階では予定していなかった事業の交付決定があり、予算額に比して決算額が154百万円増額となっています。
　なお、補助金等収入については、授業料等減免費交付金が133百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

（注４）授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等減免費交付金を控除していること及び授業料収入の減により予算額に比して決算額が126百万円少額となっています。

（注５）産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として産学連携等研究収入の増により、予算額に比して決算額が 23 百万円増額となっています。

（注６）目的積立金取崩については、主として事業計画変更による増額があり、予算額に比して決算額が 22 百万円増額となっています。

（注７）教育研究経費については、主として経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が、22 百万円少額となっています。

（注８）施設整備費については、（注２）に示した理由により、予算額に比して決算額が 23 百万円増額となっています。

（注９）補助金等については、（注３）に示した理由により、予算額に比して決算額が 21 百万円増額となっています。

（注 10）産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注５）に示した理由により、予算額に比して決算額が 20 百万円増額となっています。